



秋祭り

9月7日(土)



12時30分。会場(通称トム・ソーヤ公園)にスタッフが集まり始めました。開店の準備です。

「焼きそば」、「かき氷」、「射的」、「型抜きその他」、「飲料販売」、「ベルくじ」等、私は「焼きそば」班。テーブル、ガスコンロ、ガスボンベ、鉄板、ブロック、中華麺やキャベツ、もやしの食材等を準備します。鉄板2枚で、一度に8人分の焼きそばが出来ます。まずは試作。味見は店長の稲村さんが行います。合格です。



13時、いよいよ「秋祭り」の始まりです。始まったら、終わりまで、ひたすら焼きそばを作り続けると聞いてはいたのですが、まさしくその通りでした。焼きそばを作り、パックに詰め、店先に並べる、この作業の繰り返し、次から次へと売れ、来場の皆さんに渡って行きます。一息付けたのはこの時のみ、山田プリンさんが大道芸を披露していた時、「皿回しに挑戦」は楽しそうで、特に子供たちは飽きることなく試みていましたが、そう簡単には行きません。それと「ベルくじ」の抽選会、ひとりで、二つ、三つと当たった人がいたようです。大分時が過ぎました、それぞれの店の裸電球が灯され、やがて祭りは終わります。

この一皿、この一品、この一杯 河本 猛夫

2006年から仕事で海外に行く機会が得られ、昨年まで多いときは年の半分はあちこちに出張し、南極大陸以外のおよそ観光では行かない聞いたことがない国まで行く機会がありました。

「この一皿」は、アメリカ西海岸のシアトルで休みに港を散歩した際にシーフードレストランのテラスで観光客が馬鹿みたいに大きなカニを食べていたのを見て思わず入って食べたカニが忘れられません。甲羅が大人の頭程度もある大きなカニでまな板のようなものになり、大きな木槌がいっしょにできたのでまずびっくりしました。甲羅が固く木槌で思いきり中の身が飛び散るほどたたかないと割れないので食べ終わった後は満腹感と木槌を振り疲れたのを覚えています。

「この一品」は、南米ブラジルやその周辺国では、大きな鉄串に刺したいろいろな種類と部位の肉の塊をテーブルまで入れ代わり立ち代わり持ってきて食べる分だけ切ってくれる「シュラスコ」という安くて肉以外にもビュッフェ形式で種類の多い食べ放題な料理があります。肉が新鮮で焼き立ての為、つい食べ過ぎてしまうのがたまにキズでした。ウルグアイやアルゼンチンはヨーロッパの雰囲気があり夜間一人で散歩しても問題がなく体力とお金があればもう一度観光で行ってみたい国でした。

「この一杯」ですが、ベルギーは地ビールの種類が多くお土産にしても喜ばれる感じがしました。またビールの有名な国では観光ルートにビール工場が入っていたりして気軽に行けますので、出来立てのいろいろな種類のビールの試飲ができ、お土産も豊富でお勧めです。

最後に番外編を紹介します。海外出張も長期にわたると日本食が恋しくなります。最近なんちゃっても含めれば「和食」も結構アフリカの名もない国にもあったりしますが、やはり日本で食べるような物にそうそう出会いません。でも中華料理はどんな国に行っても中国人が作るものが食べられますので助かります。

ただ二度と出会いたくないと思うものも結構あり私的には、シリアで食べたインド料理(生野菜がサービスで食べ放題)につられ食べた結果が同僚と二人で同時にものすごい腹痛で仕事になりませんでした。(水、氷、アイス、野菜には注意してください)でも一度経験すると大概次回以降は大丈夫になるのが不思議です。あとは、珍しいけど二度と食べたくないと思ったのがいずれもアフリカでマラウイで食べたワニのステーキ(脂っぽい鶏肉?)とコートジボワールで是非にと勧められたネズミ(多分相当でかい)のシチューでした。



見事! 総合成績で準優勝!

湘南地区 体育祭

9月29日(日)、午前9時30分、柳島スポーツ公園にて、第37回湘南地区体育祭の始まりです。参加チームは「ベルパーク」「柳島・松風」「中島」「松尾・ガーデンハウス」「エクシード」「グランヴァーク」初参戦の「浜見平」です。

今にも雨が降りそうな空模様で、当初のプログラムを変更し、午前中、ないし昼過ぎには終わる予定になりました。まずは軽い準備運動、ストレッチからです。最初の種目は「担架リレー」です。ここでベルパークチームは素晴らしいスタートを切りました。作戦が功を奏し、見事1着です。この後「駆けくらべ」、「ボール送り競争」、「スペースシャトル」へと競技は進んでいきます。さて、出番を終えた私は、「ベルマーレコンディ

ショニングセンター」の皆さんが、無料相談・施術を行っているテントを訪ねます。着いた時には、もう既に10人前後の人が順番を待っていました。私がテントにいた間に、またまたベルパークチームが「湘南競輪」で素晴らしい戦績を挙げていました。1着です。しかし、この後、この日最大の不運がベルパークチームを襲いました。「消化リレー」の競技中です、中盤であったと思いますが、消火器の水圧が低く、ペットボトルに当て続けても倒れません、この間に他のチームは次々とバトンタッチを行っていました。係員が他の消化器に代え、ペットボトルが倒れた時には、先頭はおろか、すぐ前のチームとも大きな差が開いてしまいました。

午後の部「おやつパン食い競争」では未就学の子供達と、そのお母さん達が手を繋いで走る競技、この種目の為だけに来年も参加したい人は何人もいるはず。次は「障害物競走」、「玉入れ」は運動会の華です。得点の上位3チーム「赤」と、下位4チーム「白」の戦い、ベルパークは「赤組」で見事赤組の勝利。大きな得点です。最後の種目は「自治会対抗リレー」で、ここでもベルパークは素晴らしい成績の2位でした。



ベルパークから参加されたみなさん



▲ベルパークテントにて



▲観客席での昼食



▲玉入れ 赤組の勝利



▲自治会対抗リレー 2位

飼い主の会



飼い主の会は、ペットに関する各種手続きや飼育マナーの啓もう活動を行っている会です。ベルパークではペットを飼育するには必ず飼い主の会に入会していただくことになっています。

入会、退会、狂犬病予防、ワクチン接種の届け出用紙はプラザ館にありますのでご記入の上飼い主の会のポストへ入れてください。

各館に掲示していますように飼い主としてのマナーを守って、ペットを飼っている方も飼っていない方も快適に暮らせるベルパークを目指しています。環境美化の取り組みとして、管理組合、自治会、飼い主の会共催で、年2回、合同地域清掃を実施しています。

皆様のご協力をお願いします。

この一品 この一品 この一杯 瀬上 正浩



今回、福岡出身の私よりこの一品を紹介させていただきます。

福岡・博多には「どんこつラーメン」「もつ鍋」「明太子」など多くの名物がありますが、私のこの一品は「博多うどん」です。「博多うどん」は意外と思われるかもしれませんが、最近博多を訪れる芸能人もラーメンよりうどんを食べる方が多いそうです。

博多うどんの歴史は古く、博多がうどん伝来の地とも言われている位で、その特徴はこしのないやわらかい麺、あご(トビウオ)でとっただしにうすろしように仕上げた透明のつゆ、具材は、ゴボウ天、丸天、肉等をトッピングするのが博多ではポピュラーな食べ方です。また、「かしわのおにぎり、ごはん」をお供にする人も多く、私も学生時代から必ず注文していました。福岡出身のタモリさんも帰省の時には必ず行きつけのうどん店に行かれるそうで、私も同じく帰省の際には必ず食べに行く程なつかしい故郷の味です。

皆さんも福岡へ行かれる事があつたら是非「うどん」を食してみてください。

関東や関西にはない味がそこにあると思います。

編集後記

ついこの間まで暖かい日が続いていると思っていたら、あつという間に凍える様な寒さが続く様になってきました。

ベランダから眺める富士山も、景色も着々と冬支度をしているみたいです。

今回はこの紙面も少し冬をイメージしてみました。いががだつたでしょうか?

広報でこんな記事を取り上げて欲しい、これ載せて!こんな風にしてみたい...などありましたら、ぜひ自治会までお知らせください。また、一緒に広報紙を作りたいなあという方がいらっしゃいましたら、お声がけください。